

## 日本スポーツマスターズ2026 サッカー競技 東海予選要項

1. 主 催 一般社団法人 東海サッカー協会
2. 主 管 一般財団法人静岡県サッカー協会
3. 大会責任者 一般財団法人静岡重県サッカー協会 専務理事 渡辺 裕年
4. 運営責任者 一般財団法人静岡県サッカー協会 1種社会人部委員長 加藤 敬
5. 大会期日 2026年6月6日(土)、7日(日)
6. 試合会場 竜洋スポーツ公園サッカー場(静岡県磐田市南平松8)
7. 参加資格

日本在住者で、1991年(平成3年)4月1日以前生まれの2026年度(公財)日本サッカー協会登録選手によって構成されたチームであり、選手は下記の資格を満たす者。

(1)所属都道府県は、下記のいずれかを選択することができる。

- ①居住地を示す現住所が位置する都道府県
- ②勤務地が位置する都道府県
- ③日本サッカー協会に登録したチームの所属都道府県

(2)第80回国民体育大会サッカー競技会(都道府県大会、ブロック大会を除く)に選手として参加する者は、本大会に選手として参加することは出来ない。

(3)都道府県予選に参加した選手は、他の都道府県から参加する事は出来ない。

(4)監督は、原則として日本サッカー協会公認コーチ(C、B、A、S級)の資格を有する者。

(5)参加上の注意

- ①参加者は自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- ②大会参加者の大会期間中の急激かつ偶然な外来の事故等によるケガを保証するため、参加者各人において傷害保険に加入することが望ましい。運営側では傷害保険の加入は致しません。
- ③緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先を把握しておくこと。

### 8. 大会規定

(1)選手エントリー数は20名を上限とし、外国籍選手は3名まで含めることができる。

なお、参加申込書提出後におけるエントリー選手等、一切の変更は認めない。

(2)外国籍選手は同時に3名まで試合に出場できる。

(3)参加選手は、大会エントリー前に各県協会にて大会参加資格審査を受けた者とする。

(4)試合時間は60分(30-10-30)とする。

なお、規定時間内で勝敗が決しない場合は、PK戦により勝敗を決める。

PK戦に入る前のインターバルは1分とする。

飲水タイム(クーリングブレイク)は、WBGT値の計測値に基づき決定する。

前半はキックオフ30分前、後半はハーフタイム時の計測値で判断する。

(5)選手交代は、登録選手内での再交代を可能とする。(一度退いた競技者も再び出場できる)

脳震盪による疑いで交代した選手は、脳震盪でなかったことが医師の診断書で証明ができる場合に限り次戦への出場を認める。

(6)競技規則は、大会実施年度の(公財)日本サッカー協会サッカー競技規則による。

(7)選手の用具について

本競技会に出場するチームのユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)については、チームで統一された色のものを着用すること。また色違いのものを別に一式、合計2着用すること。シャツ前面と背面に選手番号を付け、選手はエントリー表にて届け出た番号のユニフォームを着用すること。

背番号は1から99番までの番号とする。0番は認めない。100番以上の番号については、チームの選手登録数が100人以上いるチームの場合は認める。なお、以上の記載事項について参加申込後の変更は認めない。

上着の下にシャツを着用する場合、各袖の主たる色と同じ色で1色とする。または各袖とまったく同じ色の柄であること。

ショーツの下にタイツを着用する場合、ショーツの主たる色または裾の色と同じであること。その場合同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。

ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色とする。主審は、対戦するチームのユニフォーム色彩が類似していて判別しがたいと判断した時は両チーム立ち合いのもとでその試合において着用するユニフォームを決定する。また、ユニフォームに広告を掲示している場合、チームは(公財)日本サッカー協会の規定に則しかつ同協会の承認を得ているユニフォームに限り回答書を事前に提出の上着用することができる。

(公財)日本サッカー協会によって用意又は認められた(キャプテン)アームバンドのみ着用が認められ日本サッカー協会によって認められたアームバンドを着用する場合は、日本サッカー協会ユニフォーム規定に準拠するものとする。

(8) 試合用ボールは大会運営側で用意する。

(9) チームベンチに入ることのできる人数は、交代要員9名、役員6名(合計15名)とする。

(10) 試合に出場する選手には、一切の装身具の着用を認めない。

(11) 第4の審判を配置する。

(12) 主審が選手の負傷等により試合を中断し、チームスタッフの立ち入りを認める旨の合図をした場合に、チームスタッフは2名に限り、ピッチ内に立ち入ることができる。

(13) テクニカルエリアを設置する。

テクニカルエリア内からの戦術的指示は、都度1名だけが行える。

(14) アディショナルタイムの表示を行う。

(15) マッチコーディネーションミーティングを試合開始70分前に行う。場所は当日指定する。

出席者はマッチコミッショナー、審判員、両チーム監督及び運営責任者とする。

(16) 雷ほか、天候等の不良により試合が中止された場合の処置

① 前後半を問わず、試合が最後に中断された時点で得点の多いチームを勝者とする。

② 前後半を問わず、試合が最後に中断された時点で得点と同じ場合は抽選により勝者を決める。

試合が行われなかった場合も同様とする。

9. 本大会の組合せは(一社)東海サッカー協会が予め決定する。

## 10. 懲罰

(1) 本大会の予選(都道府県大会)は懲罰規定の同一競技会とみなし、予選終了時点での退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。

(2) 各県大会等本大会に繋がる大会での警告累積は、各県大会で消滅し本大会に影響を及ぼさない。

(3) 本大会において退場を命じられた選手・チーム役員は自動的に直近の本大会1試合に出場できず、それ以

降の処置については規律委員会において決定する。

(4) 本大会において他大会の出場停止処分を消化する場合は、事前に書面によって東海社会人サッカー連盟委員長に報告しなければならない。

(5) 退場処分を受けた選手・チーム役員は、懲罰規程(別紙2)懲罰基準の運用に関する細則第3条の通り試合が終了するまで制限される区域には立入ることは出来ない。

(6) 本大会は(公財)日本サッカー協会懲罰規程に則り、大会規律委員会を設ける。委員長は、東海社会人サッカー連盟の委員長とし、委員については委員長が決定する。

委員長:岩村 宣明 副委員長:茶山 暁志 委員:加藤 敬、藤井 祥男、中川 秀紀

(7) 本大会の規律問題は、(公財)日本サッカー協会懲罰規程に従い、大会規律委員会が処理しなければならない。[懲罰規程 第24条]

11. 全国出場枠・期日・会場

出場枠:東海地域から1チーム

期 日:2026年9月19日～22日

会 場:石川県

13. 本大会要項に規定されていない事柄については、東海社会人サッカー連盟において協議のうえ決定する。

14. 組合せ(Mはマッチナンバーを示す)

